



エストニア月間情勢報告
【2025年10月】
在エストニア日本国大使館



【10月の注目記事】

内政

●13～19日、地方議会選挙。投票率59.2%。首都タリンでは中道左派の中央党が79議席中37議席を獲得。

外交

●14日、エストニア、国連人権理事会理事国に2度目の選出。任期2026～28年。

●27日、ツァフクナ外相、ウクライナ訪問。エネルギー支援基金への15万ユーロ拠出についてシュミハリ外相と会談したほか、ゼレンスキー大統領から国家勲章を受章。

防衛

●9日、小型飛行物体が南東部でロシア側から領空侵犯。

経済

●16日、アマゾン社、タリンに事務所を開設。

●21日、米シンクタンク「タックス・ファウンデーション」は、エストニアの税制がOECD加盟国の中で最も競争力があると評価（12年連続）。

SNS

大使館HP：https://www.ee.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html



中村耕一郎大使インスタグラム：https://www.instagram.com/amb_japan_estonia/

大使館インスタグラム：<https://www.instagram.com/japanembassyestonia/>



大使館フェイスブック：<https://www.facebook.com/share/1Yecpayktp/?mibextid=wwXlfr>

1 内政の主な動き

- 3 日、カリス大統領、国会が再度可決した教会・信徒団法改正は結社、信教の自由を制限するとして最高裁に違憲審査を要請。
- 7 日、ヴィル地方裁判所、元エストニア防衛同盟構成員にスパイ罪で懲役 4 年 11 か月の判決。今春、ロシア F S B に他構成員情報やナルヴァ市情勢に関して情報提供していた疑い。
- 8 日、国会、警察による車両ナンバープレート認識カメラ使用を認める警察国境警備法改正案を可決。春に規制が不十分なことが判明してカメラ運用を停止していたもの。20 日に大統領が公布。
- 10 日、警察国境警備庁、エストニア南東部のロシア領「サーツェ・ブート」を通過する道路でロシアの武装部隊の移動を確認し、通行止め。16 日、政府は恒久的な閉鎖と迂回路建設を決定。
- 13～19 日、地方議会選挙。投票率 59.2%。電子投票は全投票の 45.8%。首都タリンでは中道左派の中央党が躍進し、79 議席中 37 議席を獲得。
- 18 日、10 月政党支持率（Kantar Emor 社）：祖国党 23%、中央党 20%、保守人民党 15%、社民党 14%、改革党 13%、右派 9%、エストニア 200 党 3%、Koos 党 2%。

2 外交・その他対外関係

- 1～2 日、ミッハル首相、欧州理事会非公式会合および欧州政治共同体サミットに出席（於：コペンハーゲン）。また、安全保障関連の円卓会議にノルウェー首相と共同議長として出席。
- 6～8 日、カリス大統領夫妻、英国訪問。ウィリアム皇太子と会談したほか、投資家やヘルステック企業の会合に出席。
- 8 日、ゲラペトリティス・ギリシャ外相、エストニア訪問。ツァフクナ外相と欧州の安全保障等に関して会談し、共産主義犠牲者の記念碑を訪問。
- 9～10 日、アライオロス・グループ会合（於：タリン）。欧州 11 か国の元首が A I の役割や安全保障状況に関して協議。
- 9～10 日、タリン・デジタル・サミット開催。フリーダム・オンライン連合会合も同時開催。マグラ欧州委員（民主主義・司法・法の支配担当）はミッハル首相と会談。パコスタ法務・デジタル相とバラショフ・ウクライナ・DX 副大臣は、デジタル協力覚書に署名。
- 10 日、ツァフクナ外相、リガ安全保障会議に出席。ラトビア外相および国防相と会談。
- 12 日、エストニア、シェンゲン圏渡航者を記録する E E S（出入域システム）を導入。
- 14 日、エストニア、国連人権理事会理事国に 2 度目の選出。任期 2026～28 年。
- 15 日、セラフィン欧州委員（予算・不正防止・総務担当）、エストニア訪問。ミッハル首相およびツァフクナ外相と EU 中期予算計画に関して会談し、国会で演説。
- 21～29 日、カリス大統領夫妻、訪米。ベアボック国連総会議長らと会談したほか、イエール大学等で講演し、カーネギーホールでアルヴォ・パルト 90 歳記念コンサートを観賞。

- 22日、ツァフクナ外相、ビジネス代表团とアゼルバイジャンを訪問。アリエフ大統領およびバイラムフ外相と会談し、在バクー・エストニア大使館開設を政府に提案する旨発言。
- 23日、ミッハル首相、ロシア凍結資産の使用が議題になった欧州理事会会合に出席（於：ブリュッセル）。
- 25～31日、国会エストニア・台湾支援グループのヴァガ会長とシクト議員、台湾外交部の招待で台湾訪問。欧州の親台湾議員によるフォルモサ・クラブの総会に出席し、頼総統らと会見。
- 27日、ツァフクナ外相、ウクライナ訪問。エネルギー支援基金への15万ユーロ拠出に関してシュミハリ外相と会談したほか、ゼレンスキー大統領から国家勲章を受章。
- 27日、タロ内相、ポーランド訪問。北欧、バルト、ドイツ、ポーランドの国内安全保障担当大臣の会合に出席し、Lejtens 欧州対外国境管理協力機関（FRONTEX）代表と地域司令部のナルヴァ市への恒久的な設置を確認する協力協定に署名。
- 30日、エストニアおよびアイルランドの外務省、ウクライナ Berdychiv 市（ジトーミル州）の病院の集中治療室の改修工事及び医療関係者研修に関する協定に署名。アイルランドが100万ユーロを拠出し、エストニアは73万ユーロを拠出してプロジェクトを管理。
- 31日、ツァフクナ外相、トルコ訪問。フィダン外相と同国のNATOバルト領空監視ミッション参加やEU・トルコ関係に関して会談。

3 防衛

- 9日、小型飛行物体が南東部でロシア側から領空侵犯。18分間、国境から約2キロ地点まで侵入。
- 23日、ペフクル国防相、訪韓。安国防相とK239（多連装ロケット）調達のための国防協力協定に署名し、アジア最大の防衛産業展示会「ADEX 2025」を視察。

4 経済の主な動き

- 1日、農業食品庁、アフリカ豚熱による非常事態体制を解除するが、準備態勢は維持する旨発表。今年、農場11か所で発生し、豚約5万6,000頭を殺処分。
- 1日、企業価値ランキング（Prudentia 社、Nasdaq Tallinn）：1位 Eesti Energia 社（国有エネルギー）33億5,200万ユーロ、2位 Swedbank 銀行23億6,300万ユーロ、3位 Luminor Bank 銀行22億3,200万ユーロ。
- 2日、Baltika Group 社（アパレル製造小売）、倒産。バルト三国での事業を中止し、全従業員を解雇。
- 16日、アマゾン社、タリンに事務所を開設。Amazon Web Service と Amazon Music 事業用。バルト三国全体の顧客サポートを更に強化。
- 21日、財務省、長期国債5億ユーロ分の発行を発表。2034年1月償還。
- 21日、米シンクタンク「タックス・ファウンデーション」は、エストニアの税制がOE

C D加盟国の中で最も競争力があると評価（１２年連続）。

● ２８日、エストニア中央銀行監査役会、次期総裁候補にカーシク副総裁を選出。任期７年、大統領が任命する規定。ミュッレル現総裁の任期は来年６月まで。

５ 経済関係統計（出典は特に記載がなければ統計庁）

● ９月消費者物価指数（７日）：前年同月比＋５．２％。食品は＋７．７％。

● ８月貿易（１０日）：輸出は前年同月比－２％の１４億ユーロ、輸入は＋２％の１７億ユーロ。

６ 日本関連報道数

	政治	経済	文化	社会	スポーツ	その他	計
現地記者	3	0	3	0	0	3	9
キャリー	1	0	0	0	0	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0
計	4	0	3	0	0	3	10

（注意）以上の記載内容は、エストニア国内の報道をまとめたものであり、当館としてその記載内容に責任を有するものではありません。